

受付印

平成 年 月 日

北方町長様

※ 処理事項	整理番号	事務所区分	法人番号	申告区分
※ 処理事項	発信年月日 通信日付印	確認印	申告年月日	申告年月日
所在地	〒		この申告の基礎	
（ふりがな）	（電話）		1. 法人税の平成 年 月 日 の課税割合の算出による。 2. 法人税の平成 年 月 日 更正、決定、変更による。	
法人名	事業種目		期末現在の資本金の額 又は出資金の額 期末現在の資本金等の額 又は連結個別資本金等の額	
代表者 氏名印	経理責任者 氏名			

平成 年 月 日から 平成 年 月 日までの 事業年度分又は 連結事業年度分 の市町村民税の 申告書 ※

摘要		課税標準	税率(%)	法人税割額
		十位 百万 千 円		十位 百万 千 円
(使途税匿金税額等) 法人税法の規定によって計算した法人税額	①			
試験研究費の額に係る法人税額の特別控除額	②			
国際戦略総合特別区域及び雇用者の数の増加に係る法人税額の特別控除額	③			
還付法人税額等の控除額	④			
退職年金等積立金に係る法人税額	⑤			
課税標準となる法人税額又は個別帰属法人税額及びその法人税割額 ①+②+③-④+⑤	⑥	000	12.3	
2以上の市町村に事務所又は事業所を有する法人における課税標準となる法人税額又は個別帰属法人税額及びその法人税割額 ⑥ × ⑦	⑦	000	12.3	
外国の法人税等の額の控除額	⑧			
仮装経理に基づく法人税割額の控除額	⑨			
差引法人税割額 ⑥-⑧-⑨又は⑦-⑧-⑨	⑩			00
既に納付の確定した当期分の法人税割額	⑪			00
租税条約の実施に係る法人税割額の控除額	⑫			
この申告により納付すべき法人税割額 ⑩-⑪-⑫	⑬			00
均等割額	算定期間において事務所等を有していた月数	⑭	円 × $\frac{⑭}{12}$	⑮
	既に納付の確定した当期分の均等割額			⑯
	この申告により納付すべき均等割額 ⑮-⑯			⑰
この申告により納付すべき市町村民税額 ⑬+⑰				⑱
⑱のうち見込納付額				⑲
差引 ⑱-⑲				⑳

必ず御記入願います

当該市町村内に所在する事務所、事業所又は寮等		分割基準		当該市町村分の均等割の税率適用区分に用いる従業者数
名称	事務所、事業所又は寮等の所在地	当該法人の全従業者数	そのうち当該市町村分の従業者数	人
合計		㉑	㉒	㉓

指定都市に申告する	区名	月数	従業者数	均等割額	決算確定の日	平成 年 月 日	法人税の申告書の種類	青色・その他
					解散の日	平成 年 月 日	登期中間申告の要否	要・否
				00	残余財産の最後の分配又は引当の日 <td>平成 年 月 日 <td>法人税の申告期限の延長の処分の有無 <td>有・無</td> </td></td>	平成 年 月 日 <td>法人税の申告期限の延長の処分の有無 <td>有・無</td> </td>	法人税の申告期限の延長の処分の有無 <td>有・無</td>	有・無
				00	この申告が中間申告の場合の計算期間 <td>平成 年 月 日から 平成 年 月 日まで <td></td> <td></td> </td>	平成 年 月 日から 平成 年 月 日まで <td></td> <td></td>		
				00	還付を受けようとする金融機関及び支払方法 <td>銀行 支店</td> <td></td> <td></td>	銀行 支店		
				00	還付請求税額 <td>口座番号（普通・当座）</td> <td></td> <td></td>	口座番号（普通・当座）		
				00	法第15条の4の徴取猶予を受けようとする税額 <td></td> <td></td> <td></td>			
				00				

関与税理士
署名押印 (電話)